

長崎市立橘中学校 学校だより HP

「海風」

第7号 令和5年7月7日(金) 文責 校長 井上博之

○ 令和5年度「長崎っ子の心を見つめる教育週間」が終わりました

6月26日(月)～7月1日(土)の期間を設定して「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を実施しました。まず、26日(月)5校時に「校長講話」を校長室からリモートで行いました。主な内容は、教育週間の意義とねらい、人との関わりや命の大切さに気づき、他人への配慮や思いやりの心を持つこと、「よりよく生きる」ための行動などについてスライドを使って話しました。双方向のリモート授業にしたかったので、時々質問を投げかけ、生徒の回答を聞きながら進めました。



生徒の感想(ワークシート)の一部を紹介します。

「人それぞれ幸福の価値は違うけど、自分なりの幸福を見つけて、相手も幸福にできるような人になりたいと思った。」「迷惑をかけたなら素直に謝る。ルールやマナーを守る」「ありがとうを言うようにする」「みんなに平等に優しく仲良くする」「長崎でそんな悲しい事件が起きていたなんて本当に驚きました。」「校長先生のお話を聞いて、人の命の大切さや人との関わり方について詳しく学ぶことができて良かったです。そして、自分の事について改めて見つめなおすことができてよかった」「誰にでも優しく、でも、自分を大切にしないといけないなあと思いました。」「教育週間をする理由がわかったし、世界では悲しい事件がたくさんあったことも分かった」「自分のことだけではなく、周りの人のことも考える」「小さなことでも感謝する。ポジティブにもの考える」「クラスメイトに暴言を言ったことを謝ろうと思った」「いたずらや遊び半分でも悪いことはやっちゃダメだと思った」「困っている人がいたら声をかける」「生きていく中で、自分だけが幸せならいいという考え方ではなく、他の人がどうすれば生きやすいか、社会全体を良くするにはどうすればいいのかなどを考えて、自分にできることを行動に移すことが大切だと学ぶことができた」「人を大切にすることは自分を大切にすることだということは普段から感じていたので共感できた」「この授業を受けて、やっぱり学校でも友達がいるのは大切なことだと思いました」「学校からいじめや差別がなくなるようにしたい」「今、自分は他人への思いやりがあるのか話を聞きながらゆっくり考えられた」「世の中には人の命を何とも思っていない人もいるかもしれないし、自分がしている悪い行いを悪いことじゃないと思っている人もいるかもしれないから、たまには学校で“命”について考えることも将来のためには必要なんじゃないかと思った」「私たちの学校でもいろいろなことがあるけど、授業を集中して受けたい人もいるので学校での過ごし方を確認して、一人一人が楽しめるような学校にしたいと思います」「目標を作り、その目標に向かって一生懸命頑張る」



同じ内容を聞いても、感じ方や考え方は様々ですが、講話を通して自分自身のことや、友達や家族、周りとの関係、これからの行動など、真剣に考えた生徒が多く見られました。

正確な統計はとっていませんが、感想・コメントに「友達や人との関係」について記載している生徒は、『幸福』のB「ありがとう」の得点が高い傾向がうかがえました。また、真剣に考え多くの感想を記入している生徒は全項目の合計が高い傾向も見られました。今回の講話が、自分の心を見つめる機会となれば幸いです。

校長講話の他、1年生美化作業と毎日の授業公開は実施できましたが、7/1(土)に予定していた「命を考える道徳授業」の公開、学年・学級 PTA は、大雨等による危険性を考慮し、中止とさせていただきます。生徒の様子を見ていただく大切な機会だったので、大変残念でした。予定していた道徳授業は各学年・学級で7/5(水)に各学年で実施しました。

○ 1年生が美化作業を行いました

6月29日(木)6校時に1年生が正門周辺～橘交番横の花壇の花の植え替えと、学校周辺及び運動場周辺の清掃作業を行いました。

各学級の整備部約20人が、シニアクラブ矢上台緑風会会長様はじめ、多数の会員の皆様にご指導を受けながら、正門付近のプランターに肥料と土を混ぜて花を植えました。他の生徒は運動場と学校周辺の担当場所に分かれて環境整備活動を行いました。

今回も、地域の方々と一緒に活動することができました。ありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



○ 学校が困っています(ご協力いただける方を探しています)

本校のグラウンドの一部は水はけが非常に悪く、雨の翌日には数か所が水たまりとなります。例年そのような状況のようで、グラウンドの側溝を確認したところ、比較的水はけがよい場所周辺の側溝以外はほとんど土砂で埋まっている状態でした。

過去にも一部の土砂の掘り出しを行ったようですが、雨によって再びすぐに土砂で埋まってしまい、特にグラウンド南側の側溝は存在がわからないほど草と土で覆われ、人力で掘り出すことが困難な状況です。

そこで、地域やPTAの方のお力をお借りできないかのご相談です。小型のショベルカー等でグラウンド南側の側溝の上に堆積した土砂をまず撤去し、次に側溝の中の土砂を掘り出す作業にご協力いただける方を募集しています。掘り起こした土砂はそのまま袋詰めして土嚢にしていくことも考えています。グラウンド周囲の側溝はかなりの距離になるため、何回かに分けながらの作業になるかもしれません。

また、グラウンド周囲の樹木の枝がフェンスを越え、落ち葉などで地域へご迷惑をかけていたため、1年生の環境整備に合わせてチェーンソーで一部切りましたが、高所の枝は梯子が届かず、高所作業車などが必要です。これも、もし、ご協力できる方がおられたら大変助かります。

ご協力いただける方は、PTA 会長様か、直接学校へご連絡いただくと非常にありがたいです。作業の見通しを立て、ご相談しながら、具体的に詳細な計画を立てたいと考えております。

(ご協力が可能な方は、お手数ですが、利用可能な機械等の種類、運搬方法、その他の道具の有無、協力可能な時期または時間帯、ご連絡先などについて教えていただくと幸いです。)

